

【縮んだニットの伸ばし方】

家庭用の、ドライマーク用洗剤が普及して、セーターなどをご自分で洗われる方が増えたかと思えます。

しかし、それにともない”縮み”の失敗も、少なかれ増えているのではないのでしょうか。

〈手洗いのおさらい〉

縮みのなおし方の前に、ニットの洗い方を紹介しましょう。ウール製品など、デリケート製品を洗う場合は、中性洗剤で洗いましょう。(アクリル・エマールなどは中性洗剤です)

デリケート洗いは、激しいたたき・モミなどの力を加えられません。汚れやシミがあれば、あらかじめ前処理やシミ抜きをしておきましょう。

洗濯機のデリケート物洗いコース、または手洗いにて洗ってください。

エリや袖口など、汚れのきつい箇所が前になるようにたたみ、洗濯機の場合は、ネットに入れて洗います。

手洗いの場合は、たたんだ状態で洗濯液につけて、押し洗いをしましょう。

2度ほどすすぎ、最後のすすぎでは柔軟剤を使ってください。

〈縮みの種類〉

縮みにも種類があります。

緩和収縮・・・繊維が水をふくみ膨張したところに、揉まれたりすると縮みます。

この場合は、伸ばすことができます。

フェルト化・・・編み目がつまり、硬くなってフェルトにな

ったモノ、この場合は元にはもどりません。

その他・・・製品に原因があるモノもあります。

品質表示をよくご覧になり、水洗いが出来ないモノは無理はしないようにしましょう。

〈縮みをなおす〉

準備するモノ

バケツ・ヘアコンディショナー・ヘアードライヤーなど

バケツに5リットルほど水を入れて、そこにヘアコンディショナーを約10cc(ポンプ2~3回分)を入れてよく混ぜます。(水が冷たいと溶けにくいので、お湯で溶かしてから混ぜると良いでしょう)

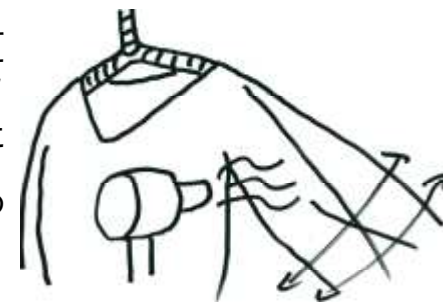
伸ばしたい品物を、たたんでバケツに入れます。全体を押さえて、よく浸してください。そのまま5分ほど置きます。

5分経ったら、1分ほど弱脱水します。そして、半乾き程度になるまで自然乾燥させてください。

半乾き程度になったらハンガーに吊り、ヘアードライヤーで

熱風をあてて乾かすのですが、その時に片手でドライヤーを当てている箇所のスソを持ち振ります。

袖なら、袖に熱風があたるようにドライヤーを動かしながら、もう片方の手は、リズムカルにその袖のはしを持ち振ってください。



適当な長さに伸びたら、後は完全に乾くまで乾燥させてください。

伸びすぎることもあるので、注意してください。

(^^)ワンポイント(^^)

ドライクリーニングは、家庭ではできません。衣類のお手入れは、品質表示にしたがいましょう。ドライクリーニング以外で洗えない表示のある衣類は、基本的に家電洗濯機では洗えないという意味です。

無理をすると、繊維を痛めますよ。